

## 子どもたちに望ましい教育環境を

教育委員長 長瀬 哲



現在、飯山市を取巻く環境は、著しく変化をしていますが、子どもの教育環境も同様です。なかでも少子化は、教育現場に課題を投げかけており、望ましい教育環境のため変革が必要な時期であると思えます。

飯山市の少子化の具体的な数字を県企画部の「毎月人口異動調査」結果で見ますと、平成25年度では14歳人口が240人(340人)、平成29年度では217人(321人)に、平成33年度では192人(258人)に、平成37年度では125人(187人)となります。

※(一)内は、飯山市・栄村・木島平村・野沢温泉村の総計人数です。

この結果より、14歳人口が飯山市では平成25年度の240人が12年後には125

人と、およそ半減する見込みです。また、1市3村は340人が、12年後には178人と、約半減するの見込まれています。

子どもが飯山市で誕生し、中学校卒業するまでの15年間で望ましい教育環境であるのか学校・保護者・地域が連携して、真剣に検討を始める時期であると考えます。また、1市3村で平成25年度340人が、平成37年度では178人と大きく減少することは、第1区の高校再々編成についても、この地域の課題として、今から取り上げて考えていく必要があると思われま。従って、今後の教育委員会の役割は大きな責任があると考えています。

このような状況のもとで、教育委員会は、市民の願いが反映された、望ましい教育環

境について、市民の皆様と考え、その環境を整えて行きたいと考えています。教育委員会は、学校教育、社会教育、家庭教育の各場面での活動を通して、地域の皆様の願いなどを、お聞きし取組んでまいりましたが、今まで以上に、きめ細かく対応していくことが、今後必要であると考えております。

地方教育行政法では、教育委員会は、首長から独立した行政委員会となりますが、飯山市では、首長と教育委員会は子どもの教育は、総ての面で最高のものを整え、育てようという、共通の認識で教育行政に取組んでまいりました。今後も、飯山の子どもが、飯山で生まれ、育つことに、誇りと自信が持てるように、教育課題に責任を持って取組んでいきたいと思えます。

## 第30回飯山市青少年健全育成住民大会 共育フェスティバル2012

「わがまち だいすき みんなで ボランティア」をテーマに今年も開催します。何をやるか、方法など企画・運営は、集落・字町の子ども会育成会が中心となって行います。

計画の段階から子どもたちの考えを聞くなど子どもたちが活動の主役となるように取り組ましよう。

各集落・字町では、地区住民への参加を呼びかけたり、区長さんやPTA、公民館などへの協力をお願いするとともに、地区事務局と連絡をとり、住民総ぐるみの活動にし



ゴミ拾い(鉄砲町)

「子どもと大人が共に活動することで地域の絆を深めるとともに、「地域に生かされている自分・役立つ自分」を体感する場にもなります。

日時 7月14日(土)(基準日はこの日ですが、この日以外の集落もあります。詳しくは子ども会育成会長さんなどにお問い合わせください。)

場所 各集落・字町  
 内容 子どもたちと相談し、どんなボランティア活動ができそうか話し合ってください。

例えば、福祉施設との交流、公共施設の掃除、花壇の草取り、ゴミ拾い、夏祭りの片付け、ひとり暮らしの老人との交流、駐車場の白線引き など

お問い合わせ  
 スポーツ生涯学習課  
 生涯学習係 ☎3111  
 内線352

## 飯山市青少年育成市民会議表彰

飯山市青少年育成市民会議では、毎年「青少年健全育成にご尽力いただいた個人や団体」「行為が特に顕著な善行を行った青少年(小・中・高校生および、おおむね25歳までの青年)」を表彰しています。今年も青少年の健全育成に永年にわたって尽力された功績をたたえる表彰式が6月1日市役所で行われました。受賞された皆様の今後のさらなるご活躍をお祈り申し上げます。



足立市長 みゆき野青年会議所様 高橋様 小林様 久保田市議会議長

### — 受賞された皆さん —

#### 【団体の部】

##### 社団法人 みゆき野青年会議所 様

昭和50年(社)飯山青年会議所として設立(平成5年度に名称変更)。設立当初から青少年健全育成事業に取り組む。城山や菜の花公園でのパレット祭や自然体験学習、外国のことを学ぶ講演会など、時代の流れや社会情勢に応じてさまざまな企画を行う。特にみゆき野地域の豊かな自然を活用し、子どもたちに体験活動を通して自然のすばらしさを体全体で感じてほしいと願うとともに、みゆき野の自然に誇りを持ち、自信をもってみゆき野を紹介できる愛着心を育てている。長年にわたり青少年の健全育成に尽力された。

#### 【指導者・育成者 個人の部】

##### 高橋 修司 様

平成7年より小学生を対象とした戸狩ジュニアバレーボールクラブのコーチとなり、平成8年から監督に就任し、現在まで子どもたちの指導に当たる。クラブの目標でもある「スポーツ競技を通して、体力向上・技術の習得と強い精神力をもった健全な子どもの育成」を目指し、年間を通して、週3回の練習を行う。また、施設の周りの美化(草刈)等にも指導力を発揮し、大きな貢献をいただいている。長年にわたりバレーボールの普及と健全育成のために尽力された。

##### 故 上原 脩(おさむ) 様(代理 小林 睦子様)

市内小中学生を対象とした自然観察会の講師を務め、自然とのふれあいを通して子どもたちに自然の「不思議さ」や「すばらしさ」を伝える。また、秋津小学校運営協議会「ふれあい部会」の部会長として、学校と連携を図りながら地域人材を発掘し、あるいは、学習や遊びの講師を自ら務めるなど、学校・家庭・地域が連携した学びの場づくりに積極的に取り組む。長年にわたり青少年の健全育成に尽力された。